

標準偏差による評価結果の確認

前回会議でお示した評価結果は、定量的に評価する項目について平均からどの程度の差があるかを評価の基準としましたが、より詳細な比較をするために標準偏差を使用して評価結果を再確認しました。結果は、以下のとおりです。ストーカ式及び流動床式の評価が高く、やや離れてコンバインド方式という順位になっています。

1 均等配分した場合

項目	ストーカ式	流動床式	ガス化熔融シャフト炉式		ガス化熔融流動床式		コンバインド方式 (ストーカ式+メタン発酵)	
			スラグ資源化あり	スラグ資源化なし	スラグ資源化あり	スラグ資源化なし		
安定性・安全性	1 ごみ質・量の変動への対応	2.78	2.78	2.78	2.78	2.78	2.78	2.78
	2 運転管理の難度	2.78	2.78	2.78	2.78	2.78	2.78	2.78
	3 システムの構成	13.87	6.81	△ 0.25	△ 0.25	△ 0.25	△ 0.25	△ 0.25
	4 安定稼働の実績	4.88	△ 9.82	4.88	4.88	4.88	4.88	4.88
	5 非常時及び防災面への対応	2.78	2.78	2.78	2.78	2.78	2.78	2.78
	6 事故・トラブル事例及び労働安全衛生	6.03	6.03	6.03	6.03	△ 5.35	△ 5.35	6.03
経済性	7 建設費	17.41	12.86	4.33	4.33	△ 3.07	△ 3.07	△ 3.64
	8 運転・維持管理費	12.37	14.13	△ 6.01	△ 6.01	7.53	7.53	△ 0.37
	9 最終処分に要する費用	△ 4.05	3.62	16.81	△ 0.30	14.32	2.57	△ 3.79
	10 売電収入	4.53	10.74	0.15	0.15	△ 3.00	△ 3.00	19.60
環境性	11 物質回収及び焼却残渣の資源化	2.78	2.78	2.78	2.78	2.78	2.78	2.78
	12 エネルギー回収量	8.44	9.66	△ 3.74	△ 3.74	1.08	1.08	6.67
	13 最終処分量	△ 2.70	2.41	11.21	△ 0.20	9.54	1.71	△ 2.53
	14 公害防止基準	2.78	2.78	2.78	2.78	2.78	2.78	2.78
	15 排ガス量	6.66	7.89	△ 4.37	△ 4.37	2.21	2.21	9.21
	16 温室効果ガス発生量	8.82	10.33	△ 2.64	△ 2.64	△ 0.39	△ 0.39	6.36
合計※	90.14	88.55	40.30	11.77	41.38	21.80	56.06	

順位 ① ② ⑤ ⑦ ④ ⑥ ③

2 「安定性・安全性」5割、「経済性」3割、「環境性」2割に配分した場合

項目	ストーカ式	流動床式	ガス化熔融シャフト炉式		ガス化熔融流動床式		コンバインド方式 (ストーカ式+メタン発酵)	
			スラグ資源化あり	スラグ資源化なし	スラグ資源化あり	スラグ資源化なし		
安定性・安全性	1 ごみ質・量の変動への対応	4.17	4.17	4.17	4.17	4.17	4.17	4.17
	2 運転管理の難度	4.17	4.17	4.17	4.17	4.17	4.17	4.17
	3 システムの構成	20.81	10.22	△ 0.37	△ 0.37	△ 0.37	△ 0.37	△ 0.37
	4 安定稼働の実績	7.32	△ 14.73	7.32	7.32	7.32	7.32	7.32
	5 非常時及び防災面への対応	4.17	4.17	4.17	4.17	4.17	4.17	4.17
	6 事故・トラブル事例及び労働安全衛生	9.05	9.05	9.05	9.05	△ 8.03	△ 8.03	9.05
経済性	7 建設費	15.67	11.58	3.90	3.90	△ 2.76	△ 2.76	△ 3.27
	8 運転・維持管理費	11.13	12.72	△ 5.41	△ 5.41	6.77	6.77	△ 0.34
	9 最終処分に要する費用	△ 3.65	3.26	15.13	△ 0.27	12.88	2.31	△ 3.41
	10 売電収入	4.08	9.67	0.13	0.13	△ 2.70	△ 2.70	17.64
環境性	11 物質回収及び焼却残渣の資源化	1.67	1.67	1.67	1.67	1.67	1.67	1.67
	12 エネルギー回収量	5.06	5.80	△ 2.24	△ 2.24	0.65	0.65	4.00
	13 最終処分量	△ 1.62	1.45	6.73	△ 0.12	5.73	1.03	△ 1.52
	14 公害防止基準	1.67	1.67	1.67	1.67	1.67	1.67	1.67
	15 排ガス量	3.99	4.73	△ 2.62	△ 2.62	1.33	1.33	5.52
	16 温室効果ガス発生量	5.29	6.20	△ 1.58	△ 1.58	△ 0.23	△ 0.23	3.82
合計※	92.97	75.76	45.86	23.60	36.41	21.13	54.27	

順位 ① ② ④ ⑥ ⑤ ⑦ ③

※合計は、標準偏差による中央の値を50に設定しております。そのため、各項目はマイナスの点数がつくこともあります。

3 「安定性・安全性」3割、「経済性」5割、「環境性」2割に配分した場合

項目	ストーカ式	流動床式	ガス化溶融シャフト炉式		ガス化溶融流動床式		コンバインド方式 (ストーカ式+メタン発酵)	
			スラグ資源化あり	スラグ資源化なし	スラグ資源化あり	スラグ資源化なし		
安定性・安全性	1 ごみ質・量の変動への対応	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50
	2 運転管理の難度	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50
	3 システムの構成	12.49	6.13	△ 0.22	△ 0.22	△ 0.22	△ 0.22	△ 0.22
	4 安定稼働の実績	4.39	△ 8.84	4.39	4.39	4.39	4.39	4.39
	5 非常時及び防災面への対応	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50
	6 事故・トラブル事例及び労働安全衛生	5.43	5.43	5.43	5.43	△ 4.82	△ 4.82	5.43
経済性	7 建設費	26.12	19.29	6.49	6.49	△ 4.60	△ 4.60	△ 5.45
	8 運転・維持管理費	18.55	21.20	△ 9.01	△ 9.01	11.29	11.29	△ 0.56
	9 最終処分に要する費用	△ 6.08	5.43	25.22	△ 0.46	21.47	3.85	△ 5.68
	10 売電収入	6.80	16.11	0.22	0.22	△ 4.50	△ 4.50	29.40
環境性	11 物質回収及び焼却残渣の資源化	1.67	1.67	1.67	1.67	1.67	1.67	1.67
	12 エネルギー回収量	5.06	5.80	△ 2.24	△ 2.24	0.65	0.65	4.00
	13 最終処分量	△ 1.62	1.45	6.73	△ 0.12	5.73	1.03	△ 1.52
	14 公害防止基準	1.67	1.67	1.67	1.67	1.67	1.67	1.67
	15 排ガス量	3.99	4.73	△ 2.62	△ 2.62	1.33	1.33	5.52
	16 温室効果ガス発生量	5.29	6.20	△ 1.58	△ 1.58	△ 0.23	△ 0.23	3.82
合計※	91.25	93.76	43.63	11.11	41.31	18.99	49.96	
	順位	②	①	④	⑦	⑤	⑥	③

4 「安定性・安全性」4割、「経済性」4割、「環境性」2割に配分した場合

項目	ストーカ式	流動床式	ガス化溶融シャフト炉式		ガス化溶融流動床式		コンバインド方式 (ストーカ式+メタン発酵)	
			スラグ資源化あり	スラグ資源化なし	スラグ資源化あり	スラグ資源化なし		
安定性・安全性	1 ごみ質・量の変動への対応	3.33	3.33	3.33	3.33	3.33	3.33	3.33
	2 運転管理の難度	3.33	3.33	3.33	3.33	3.33	3.33	3.33
	3 システムの構成	16.65	8.18	△ 0.30	△ 0.30	△ 0.30	△ 0.30	△ 0.30
	4 安定稼働の実績	5.85	△ 11.79	5.85	5.85	5.85	5.85	5.85
	5 非常時及び防災面への対応	3.33	3.33	3.33	3.33	3.33	3.33	3.33
	6 事故・トラブル事例及び労働安全衛生	7.24	7.24	7.24	7.24	△ 6.43	△ 6.43	7.24
経済性	7 建設費	20.90	15.44	5.20	5.20	△ 3.68	△ 3.68	△ 4.36
	8 運転・維持管理費	14.84	16.96	△ 7.21	△ 7.21	9.03	9.03	△ 0.45
	9 最終処分に要する費用	△ 4.86	4.34	20.18	△ 0.37	17.18	3.08	△ 4.55
	10 売電収入	5.44	12.89	0.17	0.17	△ 3.60	△ 3.60	23.52
環境性	11 物質回収及び焼却残渣の資源化	1.67	1.67	1.67	1.67	1.67	1.67	1.67
	12 エネルギー回収量	5.06	5.80	△ 2.24	△ 2.24	0.65	0.65	4.00
	13 最終処分量	△ 1.62	1.45	6.73	△ 0.12	5.73	1.03	△ 1.52
	14 公害防止基準	1.67	1.67	1.67	1.67	1.67	1.67	1.67
	15 排ガス量	3.99	4.73	△ 2.62	△ 2.62	1.33	1.33	5.52
	16 温室効果ガス発生量	5.29	6.20	△ 1.58	△ 1.58	△ 0.23	△ 0.23	3.82
合計※	92.11	84.76	44.74	17.35	38.86	20.06	52.12	
	順位	①	②	④	⑦	⑤	⑥	③

※合計は、標準偏差による中央の値を50に設定しております。そのため、各項目はマイナスの点数がつくこともあります。